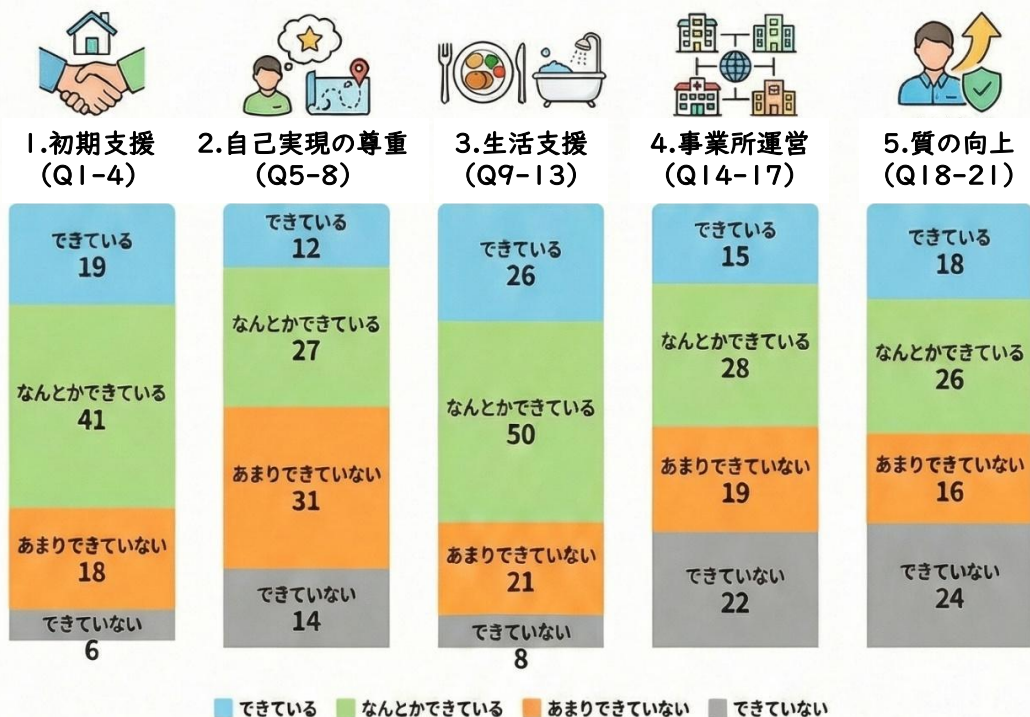


養護老人ホームライトホーム 職員自己評価アンケート結果報告 (R7年度)

21名の職員による自己評価を行いました。全体傾向として基礎的な日常ケアや初期対応には一定の自己評価が見られる一方、入所者の個別目標把握や地域社会との積極的な連携に課題が浮き彫りとなりました。この結果を踏まえ、今後のチームケアの方向性や研修計画を策定するための重要な根拠として職員一同ケアの質の向上に向けて取り組んでいきます。日常ケア・初期対応は「おおむね良好」な傾向、「目標共有」と「地域連携」に明確な改善の余地があります。

カテゴリー別評価分布



✓ 強み (Strengths)

強み：基礎的な介護と即時的な情報共有

「状況に合わせた基礎的な介護(食事・入浴等)」や「調変化の即時共有」では、多くの職員が肯定的な自己評価を行っています。



⚠ 課題 (Weaknesses)

課題：地域社会とのネットワーク構築

「地域の会合等への参加」や「地域との日常的な協力」は全項目中最も低い評価となっており、連携強化が課題です。

課題：ケアプラン・目標の理解

アンケートの自由記述からも「ケアプランの周知不足」や「本人の具体的な目標設定」が不十分であるというが多く挙がっています。



“ 職員の決意 (自由記述より)

「ルーティンではない、一人ひとりに寄り添うケアへ」

「声にならない声をくみ取る」「以前の暮らし方を尊重し、目標と一緒に叶えたい」といった、個別支援への意欲が多く寄せられました。

職場環境の活性化

スマート介護の活用、クラブ活動の充実、レクリエーション系の設置など、入所者の楽しみを増やす具体的な対策も挙げられました。

